※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | T0315 |
|---|---|

# 令和８年度　地理歴史科

| 教科 | 地理歴史 | 科目 | 地理総合 | 単位数 | ２単位 | 年次 | ３年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「高等学校地理総合　世界を学び、地域を作る」(第一学習社)<br>「コンパクト地理総合地図」（山川書店） | | | | | | |
| 副教材等 | パワーポイントによる資料提示 | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・地図の見方や地理的素養を身につけてほしい。
・世界各地の文化の多様性に関心を持ってほしい。
・グローバルな広い視点で考察する力を養ってほしい。

## 2　学習の到達目標

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ，課題を追究したり解決したりする活動を通して，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

## 3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | ・地理に関わる諸事象に関して，世界の生活文化の多様性や，防災，地域や地球的課題への取組などを理解している。<br>・地図や地理情報システムなどを用いて，調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。 | 地理に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，位置や分布，場所，人間と自然環境との相互依存関係，空間的相互依存作用，地域などに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を身に付けている。 | 地理に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の国土に対する愛情，世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深めている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1学期 | 地理情報と地図 | ①球面上での生活<br>②世界地図でとらえる地球 | a:さまざまな図法で描かれた世界地図の特徴を理解している。<br>時差の仕組みを理解し，世界の２地点間の時差を求めることができる。<br>b: 球体である地球上での位置・方位・距離を正しく読み取ることができる。<br>時差のしくみをふまえ，時差を示す世界地図を適切に活用することができる。<br>c:球体としての地球を把握し，さまざまな図法による世界地図の理解に向けて，作業などに意欲的に取り組もうとしている。<br>時差が日常生活や経済活動に与える影響を自ら調べようとしている。 | 定期考査 | 定期考査<br>ワークシート<br>パフォーマンス課題 | ワークシート<br>パフォーマンス課題<br>授業態度 |
| | 国家の領域と領土問題 | ①国家の領域と海洋の役割<br>②日本の位置と領土問題 | a: 国家の領域に関する知識を身につけ，海洋の役割，領土問題について理解している。<br>b: 日本の位置と領域について世界的視野から捉え，日本の領域をめぐる問題を考察し，まとめることができる。<br>c: 地域や国家間の結びつき，日本の領域に関する諸問題について，興味・関心をもって授業に臨もうとしている。 | 定期考査 | 定期考査<br>ワークシート | ワークシート<br>授業態度 |
| | 国内や国家間の結びつき | ①国家をこえた結びつき<br>②観光による結びつき<br>③交通・通信による結びつき<br>④貿易・物流による結びつき | a:外国で暮らす日本人や歴史的背景を通して，日本と諸外国との関係を理解している。<br>世界の地域経済圏や国際連合に関する知識を身につけ，地球規模の地域的な結びつきについて理解している。<br>b: 国家間のつながりに影響する事象について目的別に整理し，さらに世界の地域経済圏や国際連合の視点から国際関係を整理・考察することができる。<br>c: 階級区分図などの統計地図を自ら課題を設定して作成し，多面的・多角的に考察しようとしている。 | 定期考査 | 定期考査<br>ワークシート | ワークシート<br>授業態度 |
| | 日常生活のさまざまな地図 | ①身の回りにあるさまざまな地図<br>②地理情報システム(GIS)のしくみと使い方 | a:さまざまな地図に関する基本的な知識を身につけ，日常生活における地図利用の有効性を理解し，活用することができる。<br>b:さまざまな地図や地理情報システムの特性を理解し，使用目的に応じて適切に表現している。<br>c:身の回りのさまざまな地図に興味を持ち，積極的に活用しようとする。 | 定期考査 | 定期考査<br>ワークシート<br>パフォーマンス課題 | ワークシート<br>パフォーマンス課題 |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 地図や地球儀ソフトを用いた作業学習に積極的に取り組み，自ら課題を設定して完成させている。 | | | 授業態度 |
| 2学期 | 自然環境と生活文化 | ①地球上の地形のなりたち<br>②山地と平野/海岸部の生活<br>③地球上の気候のなりたち<br>④暑い気候　アフリカ<br>⑤乾燥した気候　サウジアラビア・モンゴル<br>⑥季節の違い　大陸の西岸と東岸<br>⑦寒冷な気候　シベリア | a:地形や気候のなりたちに関する知識を身につけ，それぞれの地理的事象について読み取ることができる。<br>地形や気候などの特徴を，雨温図や主題図,写真などから読み取ることができる。<br>b:地形や気候のなりたちについて，プレートテクトニクスや大気大循環，海洋分布などと関連づけながら，その成因と分布の特徴を世界的視野から考察できる。<br>地形を活かした人々の暮らしの特徴について写真や地形図などから捉え，地形と生活文化との関連を考察できる。<br>c:世界の地形・気候のなりたちと生活文化・産業とのかかわりについて,興味・関心をもって授業に臨んでいる。<br>地形図や雨温図，主題図，写真，グラフ，統計資料などを理解するだけでなく，自ら表現することに意欲的に取り組んでいる。 | 定期考査 | 定期考査<br>ワークシート | ワークシート<br>授業態度 |
| | 産業の発展と生活文化 | ①農業の地域性<br>②農業　南アジア<br>③工業の地域性<br>④経済成長　中国<br>⑤工業化　タイ・ベトナム | a:世界の産業の特徴を捉え，分布や変化を概観することができる。<br>b: 世界の産業の特徴を地域ごとに比較し，自然環境や生活文化との関連性を考察している。<br>c: 身近な商品がグローバル化の進む産業構造の中に位置づけられることを捉え，産業と自分との関わりについて意欲的に探究しようとしている。 | 定期考査 | 定期考査<br>ワークシート<br>パフォーマンス課題 | ワークシート<br>パフォーマンス課題<br>授業態度 |
| | 言語・宗教と生活文化 | ①世界の言語<br>②世界の宗教<br>③仏教圏の生活文化<br>④キリスト教圏の生活文化<br>⑤イスラーム圏の生活文化<br>⑥世界の多民族多文化社会<br>⑦社会の形成　ラテンアメリカ<br>⑧多文化社会　オーストラリア | a:世界の言語・宗教の特徴を理解し，生活文化との関係を読み取ることができる。<br>世界の言語や宗教，民族に関わる現代社会の諸課題の背景や現状を概観することができる。<br>b: 世界の言語・宗教の空間的な分布とその要因を考察し，自然環境や歴史的背景と関連させて考察している。<br>世界の言語や宗教，民族に関わる現代世界の諸課題がおこっている複雑な背景を構造的に認識することができる。<br>c: 世界の言語・宗教の多様性と生活文化の関わりについて,興味・関心をもって積極的に調べようとしている。 | 定期考査 | 定期考査<br>ワークシート<br>パフォーマンス課題 | ワークシート<br>パフォーマンス課題<br>授業態度 |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 世界の言語や宗教，民族に関わる現代世界の諸課題について，日本との関わりも考えながら主体的に捉えている。 | | | |
| | グローバル化の進展と生活文化 | ①地域統合 EU<br>②グローバル化 アメリカ | a:EU 統合の背景と産業や生活文化への影響，統合によって生じている経済格差や移民問題などの諸課題を理解している。<br>アメリカ建国時から多様性を育んできた地理的環境・歴史的背景を理解している。<br>b:ヨーロッパ各国の国家としてのあり方の変容，EU と日本のつながりからグローバル化の功罪について考察している。<br>グローバル社会で世界をリードする産業の発展と企業の国際化の過程を捉え，アメリカの変容，日本とのつながりについて考察し，まとめている。<br>c:EU やアメリカの事例を通して，地域統合やグローバル化の課題について主体的に考察しようとしている。<br>グローバル化が生活と繋がっていることを踏まえて，グローバル社会に対する自分なりの意見をもとうとしている。 | 定期考査 | 定期考査<br>ワークシート<br>パフォーマンス課題 | ワークシート<br>パフォーマンス課題<br>授業態度 |
| | 人口・食料問題 | ①世界の人口問題<br>②人口増加 中国とインド<br>③人口停滞 スウェーデンと日本<br>③世界の食料問題<br>④人口増加と食料問題 アフリカ | a:世界人口の急増によって生じる問題を世界的視野から理解できる。<br>人口急増国だけでなく人口停滞国の事例を通して，各国の人口政策や諸問題について理解できる。<br>人口ピラミッドや主題図などの資料から問題の所在を読み取ることができる。<br>b:世界の人口問題の特徴や分布を，人口ピラミッドや主題図などの資料から比較・分類しながら整理し，考察できる。<br>人口問題を気候変動やモノカルチャー経済などの社会的・自然的背景と関連させながら構造的に捉え，グローバル・ローカルな視点から解決方法を構想できる。<br>c:人口に関わる世界の諸問題について，その背景や構造を捉え，主体的に考察できる。<br>人口に関する各資料から考察するだけなく，自然的・社会的背景につながる資料も関連させながら意欲的に分析を進めようとしている。 | 定期考査 | 定期考査<br>ワークシート | ワークシート<br>授業態度 |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 3学期 | 居住・都市問題 | ①世界の居住・都市問題<br>②大都市　ロンドン・ニューヨーク<br>③密集都市　メキシコシティ・ジャカルタ | a:都市に人口が集中する要因を主題図や統計資料から読み取るとともに，人口集中による都市問題について理解できる。<br>途上国と先進国では異なる都市問題が発生していることを，主題図や写真などから判読できる。<br>b:農村部から都市への人口移動を主題図や統計資料から捉え，地域レベルから世界レベルまで，さまざまなスケールで考察できる。途上国と先進国それぞれの都市問題について，その構造的要因を考察できる。<br>c:人口移動による都市の人口過密がさまざまな課題と結びついていることを理解し，自らの視点を大切にしながら主体的に考察できる。都市問題に関する資料を自ら収集・整理し，問いを立てながら意欲的に考察しようとしている。 | 定期考査 | 定期考査<br>ワークシート | ワークシート<br>授業態度 |
| | 資源・エネルギー問題 | ①世界の資源・エネルギー<br>②エネルギー資源の生産・消費と課題<br>③再生可能なエネルギーへの移行<br>④鉱産資源　ロシア・オーストラリア・日本 | a:エネルギー資源の変化を世界的な視野から概観し，主題図や統計資料をもとに，鉱産資源の偏在性，有限性，消費における地域格差などの諸課題を読み取ることができる。<br>b:鉱産資源とエネルギー資源の分布と将来的な需要について，主題図や統計資料などをもとに予測し，世界的な視野から国際協力や技術開発を推進する必要性について考察できる。<br>c: エネルギー資源の問題が，自然環境・政治・経済・国際関係などと幅広く関連していることを理解し，世界的な視野からSDGsを達成するために主体的に考察しようとしている。 | 定期考査 | 定期考査<br>ワークシート | ワークシート<br>授業態度 |
| | 地球環境問題 | ①地球温暖化の現状と将来<br>②熱帯林の減少　アマゾン・東南アジア<br>③砂漠化の進行　アラル海 | a:地球温暖化・熱帯林減少・砂漠化など，地球規模でおこっている環境問題のしくみを構造的に理解できる。<br>b:地球環境を守り持続可能な発展を実現するために国際的な協力体制が必要なだけでなくその背後にある政治経済的な課題解決も求められることを考察している。<br>c:地球規模の環境問題の構造や原因の理解とともに，地球市民の一人として，それらの問題が人々の生活に与える影響について意欲的に学び，自分のできることを探究しようとしている。 | 定期考査 | 定期考査<br>ワークシート<br>パフォーマンス課題 | ワークシート<br>パフォーマンス課題<br>授業態度 |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度